



東京都保育連合會の

カリキュラム立案に當つて

委員長 松石治子

幼稚園や保育所で幼児を指導する場合の生活計畫の大切なことは昔も今も變らないこととありますが、此の頃特に幼稚園や保育所のカリキュラムと云う言葉が新しい響きをもつて私共の腦裡をかすめます。

新しい保育は幼児の生活經驗を中心として設計されなければなりません。従來の保育の行き方は、幼児の生活を考える前に唱歌とか遊戯と云ふ様な手段のみを羅列することが保育の筋道の様に思はれ、幼児の生活が保育の定つた軌道の上を順調に走つて行けば最善の保育の様に考えられておりました。従つて保育の仕組みを表す保育案と言ふものは大抵の場合幼児の生活を無視した言はゞ押しつけ教育の傾向が強かつたのであります。

新しい保育カリキュラムは新教育の目標に従い、幼児の現

實生活の筋道の上に立つて計畫された保育過程で、幼児の楽しい生活經驗を幼児の個性に即して繰り擴げ、幼児をとり巻く社會や郷土や家庭生活から取材して幼児に最も適切な指導をし様とする教育過程でありまして、今迄の様に大人が机上で考えたプランで幼児を追い廻すのではなく、幼児の生活を通してよりよい生活に迄導こうとするのであります。

小學校や中學校のカリキュラムは教科を中心とする行き方や作業を中心とする行き方があり、各々特質があつて教育の効果をあげる事が出来ませんが、幼稚園や保育所の生活中心のカリキュラムは實に範圍の廣い複雑なものでありまして、其の組立ては容易ならぬこととあります。

従來の保育案は其の月、其の週に大體あてはまる様な中心題目を選んで先づ幾つかをとりあげ、行事を考え、五項目

(唱歌、遊戯、談話、手技、觀察)をならべればそれで生活の枠は出来たのであります。この生活の枠は時には外見上非常に教育的に整然と見えますから如何にも良い計畫の様に見えました。其實幼児には迷惑なものが多かつたのであります。保育案に忠實な保育者は常に幼児の現實生活を無視して居たと申しても過言ではないのであります。この結果幼児保育が幼児の生活と離れるといふ事を私共は意識しないでもなかつたのですが、考える機会に恵まれなかつたのです。終戦後の日本の教育は刷新されて、正しい自由を子供に與え様として居ります。即ち子供中心の教育が實施され、幼稚園や保育所も新たに幼児の現實生活の上に立脚して、幼児の幸福な生活の道筋を考え様として居ります。

此の機会に東京都保育連合會では都内各公私國立幼稚園及保育所の代表者を以てカリキュラム委員會を持ち、多年の體験と豊富な研究を披瀝して、新しい幼児教育のカリキュラムの作成に努力して居ります。現在着々その完成を急いで居りますが、何分にも幼児生活の過程は餘りにも廣範圍で、種類が多く、各園各所の生活環境も異なる上に、興味を中心も一定する事が出来ぬため困難を極めて居りますが、委員の方々の非常に熱心な研究と協力により追々形が整いつつあります。次にこの會の現在までの協議事項と決定線を記して、御參考に供しましょう。

一、協議題「幼稚園と保育所のカリキュラムは何を中心に編

成するか。」

二、 「幼稚園と保育所の生活内容の相違はどう表示するか」

三、 「カリキュラムの形式はどう定めるか」

二二

以上の問題を協議した結果、總括すれば次の様な決定を見現在之に基いて編成して居ります。

(一) 幼稚園や保育所のカリキュラムは勿論生活を中心として考へて行きます。生活とは幼児の日常経験した事をとりあげて行くことで之が新教育の目標と合致するものであると思ひます。(二) 幼稚園と保育所の生活内容は勿論同じ事もあります。但し目的が異なる以上そこに差異の出来るのは當然で、幼稚園は教育の部面を多くとり入れ、保育所は生活指導の部面を強調することに定めました。(三) カリキュラムの形式をどうするかの問題は随分意見が出ましたが、結局従來の主題という言葉が一番分り易いのであります。すべて小學校カリキュラムに準じて考えることになり「單元」という言葉をを用いる事にしました。單元というのは一つの仕事のまとまりを表すので、保育カリキュラムに適したものだという意見が多かつたので之に定めました。しかし、次に來る目標を考えたい時、單元は大單元と小單元の二つに分けるべきであることが主張されました。しかし大單元といふ大きなまとまり。たとえば春のあそびという様な一學期に一つという大きなものが、興味を轉々として變つて行く幼児の生活の大きな主題と

なる事が果してよいかと言ふ事になり、之は大單元をやめて小單元で行くべきだという事が全員の意見でありましたので先づ一ヶ年の小單元をきめて行く事にいたしました。

四

小單元の次には之を選んだ目標をあげ、次はこの目標に従つて幼児の生活内容を明示する事になりました。之は保育要領に示された「幼児の楽しい経験」を幼児の生活の中に生かし展開させてゆくので、リズム、音楽、見學、お話、自然觀察、自由遊び、繪畫製作、休息、人形芝居、劇おそび、健康教育等幼児生活の全部を盛り込んで行くのであります。

この中に盛り込まれたいろ／＼の経験はみな教育目的を達成する爲に一つ／＼が價值を持つものでなければならぬのであります。遊びは遊びでも、教育の一つの設計でありますから決して迂濶に作る事は許されません。

以上で現在までの委員會の動きをお傳へいたしました、前途は益々多難、一朝一夕には成し遂げられぬ大仕事ではあります、愛する幼児の生活を一日も早く正しい軌道に乗せて見たい、舊い殻を抜け出した雛鳥が、自由に明るく伸び／＼とあそぶ風景を思いつく、たゆまぬ努力と研究を續けて居ります。幼稚園、保育所カリキュラムが全國でそれ／＼編成されつゝあることは誠によろこびにたえません、私共も一意専心その道を辿つて居ります。以上東京の委員會の様子を中間報告いたします。

(七頁より)

二、好ましい行動の爲し易いよう、好都合の條件を作つてやること

三、保母先生の間、幼稚園と家庭との間、両親の間等に保育上意見の食い違ひのないようにすること

を附け加へ皆様と共に幼児達の幸福を祈りたいと思ひます。

註一 Healy, William, and Bronner, Augusta, *New Light on Delinquency and It's Treatment*, Yale Univ. Press, 1937, 226 pp.)

註二 Hatshorne, H., and May, M. A., *Studies in the Nature of Character*, Vol. I, 1928, 306 pp.

註三 Thorndike, *Educational Psychology*, Vol. III, 1914, 313 pp.) (ウチへ)

(一一頁より)

衣服はよく拂つて外の泥を持ち込まぬ様にします。ブラツシがあれば、子供たち自身お互に拂ふことが出来ます。手洗ひも洗顔も勿前一人で出来る様に躑けておけば、さう世話が焼けないでせう。

保母さんの中に戸外の嫌いな方があるのには一番困ります保母さん自身の體の状況もあるのでせうが、卒先して戸外になじんで頂きませう。お日様の恩恵は發育さかりの子供には實に大切であります。そしてその影響は今に表れることが少く將來にみえることをよく知つておきたいものです。立派な子供にしたいものです。